

複式学級の解消に関する説明会 会議録（北河原）

- 1 開催日時 令和3年5月15日（土）午前9時30分～11時00分
- 2 開催場所 北河原小学校体育館
- 3 出席者 25名（保護者11名、地域14名）
- 4 教育委員会 鈴木教育長
 学校教育部 吉田部長、安藤次長
 教育総務課 長島課長、上野主幹、久積主査、柏瀬、田沼

5 会議内容

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	1 開会
鈴木教育長	2 あいさつ
鈴木教育長	3 複式学級の解消に関する方針 ・資料を基に説明
出席者	4 質疑 <p>育成会は今年活動休止ということで会長職だけ残っているのだが、最後の仕事だと思っている。この10年近く統廃合に関わってきた。それが大きな仕事の一つだった。先ほどの4つの視点についてだが、南河原小と進めて駄目になり、見沼中と進めて駄目になり、自由選択というものも出てきて、今さら南河原小というのは論理的に破綻している。なぜ荒木と一緒にしないのか。説得力がない。10年統廃合に関わってきて感じるのは、いつも小規模校がしわ寄せを受けている。南河原小の時も荒木の時も、こっちが被害を受ける。小規模校が被害を受けていると実感している。非常に大事なものは平等性だと思う。憲法の話にもなるが、どんな小規模校でも大規模校でも同じように教育を受けられることは大事なことだと思う。例えば、須加小はバスを2台出すが、北河原小は人数が少ないからバス1台で、忍小に出せないというのは教育の機会として平等でない。最初から指定校だけしか出さないと話していたと言っているが、そういう問題ではない。教育委員会が自由に選んでくださいと言うなら、選んだことに責任を持つのが教育委員会の一番だと思う。それが欠けている。市長が「自由選択を全体に広げるつもりはない。場所によって決める。それは基本的に統廃合で学校がなくなる所は自由選択でいい」というのは、差別だと思う。もし自由選択制がいいと言うならば広めるべき。北河原小とか須加小といった市全体の大勢に影響しない所を自由選択制とするのは、自由選択制がいいという判断の基にやっ</p>

	<p>ているのではなくて、その方が学校潰しに都合がいいからだと思う。いいと思っていないことを実行するのは差別という。10年間統廃合に関わってきて、つくづく小規模校が都合よく差別されているというのを実感として持っている。市長は「地域の意向を反映させるべきだ」と言うが、地域の意向は決して反映されていない。議会で「地域の方は賛成なのか」と聞かれたら、「地域の意向は反映されていない。全体の意向ではない」と言ってほしい。前の荒木の保護者は賛成しているのかと聞いたら、賛成していると言っていたのだから、今度は、教育委員会は平気で地域は賛成していると言われそう。私は基本的に教育委員会の方針に賛成して、北河原地域も賛成して、義務教育学校を進めようとした。自由選択は要するに切り捨てで、バスは出しませんでは、地域の意向に反している。指定校変更の手続きについて、毎年配られている市報の記事の中にいじめとかあると思うが、この場合はどういう基準になるのか。</p>
長島課長	<p>今回、学校がなくなることについて、新たに項目を設けたいと思う。実際の手続きについては、1月頃にこの学校に入学するという通知を送って、その際に指定校変更手続きをしていただくのだが、今回は10月の学校をどこにするか聞く時に、手続きについても案内をしたい。</p>
出席者	<p>毎年出している指定校変更の文章があると思うのだが、あの中に入るのか。</p>
長島課長	<p>追加をしていきたいと思う。</p>
出席者	<p>学校生活を送ってきてやっとできた友達とバラバラになるかもしれない、一緒の学校に行けないかもしれないというのがあって、前は「どんな感じなの」と聞いてきてくれていたのだが、最近はどこに行きたいか聞いても「どうでもいい」という風になってきてしまった。学習意欲とか学校への興味に対して心配に思い始めている。相談窓口を作っていたのだが、大人ですら相談するのは勇気がいるので、子どもは自分からは中々行けないと思う。うちの子も意見があったとしても、行けないかなという不安がある。今みたいな感じで、皆で話せる場を作っていたら多少子どもの意見が聞けると思う。どうなるのかを明確に説明してほしい。私に聞いてきた時には「多分こうなる」とか「こうなると思うよ」とかちゃんとした返事がしてあげられないから、興味がなくなってきた「なるようになるでしょ、どうでもいい」となってしまう、それを正してあげられないのが凄く心苦しい。「北河原小の子は同じクラスにしてあげるよ」とか「北河原の先生をなるべく多く配置す</p>

<p>柏瀬</p>	<p>るよ」とか具体的な説明をしてあげてほしい。</p> <p>そのとおりだと思う。私も、学級に入って子どもと仲良くなっていきたい。中々一人で質問といっても言葉に出来ないことはあると思う。授業として、これからの北河原小のこととかを子ども達に説明をしたり、質問を受けたりはやっていきたい。早いうちがいいので、1学期中に必ずやりたいと思う。校長先生にお願いして授業として取り組みたい。</p>
<p>出席者</p>	<p>教育委員会から説明会の通知があったが、ご覧のとおり関心がなく、もっと多くの人に話を聞いてもらいたい。学校がどうなるかの問題は今だけでなく、将来にわたる問題である。南河原の統合の委員として出席していた。義務教育学校の専門部会もやっていた。いずれにしても、個人的にはなぜかはっきりした理由もなく終わってしまった。南河原小と統合がないということで終わったわけだが、その時以来、私個人としては南河原小と統合することはないと思っていた。それがなぜこうなったのか。専門部会で色々な角度から校名や通学などを協議して、決まった矢先に話が流れた。その本当の理由は何なのか。北河原は300世帯だが、ここから学校がなくなるということは、今現在の状態でなく、5年先、10年先はどうなるかわからない。名目は複式学級の解消が廃校に繋がるわけだが、私個人としては5人だろうが10人だろうが地域に学校を残してほしい。その中でどういう教育をしていくかが教育行政だと思う。地域にとって学校がなくなるということは地域住民全体の問題。こういった説明会に参加者が少ないのは残念に思う。大は小を飲み込むという理論で押し通せない問題だと思う。南河原小へ16～17名の希望があるわけだが、もろ手を振って行きたい人は何人なのか。利便性の関係から南河原が近いからという考えもあると思うが、一方で、忍小とか他の学校に行きたいという方は、北河原に住んでいて、なぜ忍小に行かなければならないのか。本当の目的は何なのか。学校がなくなるから選択の自由ということで聞いているが、子どもが1年生で入学して、卒業するのは6年生だから父兄の方に相当な負担がかかると思う。自由選択の意味もわからない。学校がなくなる地域住民の意見が入っていない。15、6人の保護者の意見だけが反映されている。前回の南河原との統合がなくなった時に、もうないだろうと思っていた。北河原、須加、荒木があそこまでいっていたのが、なぜなくなったのか。複式学級解消がなぜ廃校に繋がるのか。6人とかの学校がよくテレビに出ているがそれでも学校は継続されているが、教育委員会としてはどう考えているのか。</p>

<p>吉田部長</p>	<p>北河原小については、これまでも学校の再編成ということで計画ができて、白紙になってきた。南河原小との統合が白紙になり、義務教育学校が白紙になった。そういった中でなぜ南河原小との統合という話になったかについては、最後の質問にも関係してくるが、義務教育学校が白紙になった段階で複式学級の解消は喫緊の課題であった。多分保護者もその認識であったと感じている。義務教育学校があそこまでいって白紙になったのは大変申し訳なかったのだが、そのまま立ち止まっているわけにはいかないということで、すぐに保護者との意見交換を開始した。令和4年は元々義務教育学校の計画を進める時に新しい学校を開校する目標であったので、そのままにして、令和4年4月に向けてどのように進めていくか話し合いをさせていただいた。北河原小・荒木小・須加小で一緒になるのであれば、義務教育学校の下地があつて、交流事業もしてきたので、統合で進められるのではないかと提案した。他の学校を選ぶ場合は、編入にならざるを得ないと話してきた。できればどこかへ一緒にとということで話し合いを進めてきたわけだが、どうしても決まった所以外に行きたい場合は、自由選択ということで説明をさせていただいた。話し合いを進めていき、最終的には南河原小と忍小を希望する人がいた。教育長の説明にもあつたが、総合的に判断して、指定校を南河原小とさせていただいた。2点目については、北河原地区の皆さんには本当に申し訳ないと思う。荒木地区では反対署名が行われ、須加地区もアンケート調査をして、荒木8割、須加6割の反対があり、教育委員会としては改めて義務教育学校の良さを説明させていただき、できるだけ理解してもらえるように取り組んできた。その中で、保護者の意向を確認した方がいいという声が多かったので、保護者にアンケートを取った。その結果、義務教育学校を構成する見沼中、北河原小、荒木小、須加小の4校の内3校が、賛成を反対が上回った。北河原だけは賛成の方が多かった。結果を踏まえ、検討した結果、このまま進めることは困難であると判断したため、白紙とした。3点目については、北河原小は令和4年に13人になってしまう。学校生活を送る中で、体育とかで集団的な活動ができないし、切磋琢磨できず色々な考えに触れる機会が少なくなってしまう。ある程度の人数がいないと教育にも影響してきてしまう。複式学級の解消は、できるだけ早く取り組まなければならないと考えてきた。そういったことから、令和4年4月の複式学級の解消に向けて取り組んでいる。テレビとかで小さな所がという話だが、やはり島や山間部が多く紹介されている。北河原小は県内で2番目に小さい。1番は神川町で北河原より1名少ない。3番は飯能市で北河原より1名多くなっている。山間部などでなかなか統合が進まないような所となっている。そのため、当行田市としてはできるだけ進めていきたいと考えている。</p>
-------------	---

出席者	北河原小学校を存続させる選択肢はまったくないのか。
吉田部長	複式学級の解消という最大の目的があるので、残していく考えはない。
出席者	<p>義務教育学校や進むべき方向性は、不安がありながらもいいことと考 えてきた。色々な経過があつて白紙撤回になったことも自分なりに理解 している。学校運営協議会があつて、南河原小校長も来てくれた。それ ぞれの場所で行っている会議の内容が皆さんに伝わっていればいいの だが、伝わっていないので話をさせていただく。スケジュール感につい ては、先ほど話があつたとおり、10月には調査をするという説明があ つた。教育長は子どもの安心・安全が最優先であると言っていた。バス について、私からしたら、須加小は人数が多くて、元々2台利用できる から丸く収まるという認識でいる。北河原小は元々1台だから、代案策 を検討しているのも話をいただいた。循環バスや星宮経由のバスを使う とか検討していると聞いた。だけど、白紙になった時点でそれも白紙だ と思う。私が言いたいのは、お金をかけてほしい。保護者がちゃんと安 心できるように、2台用意してほしいと要望をさせていただいた。「令 和4年度はやりくりできるがそれ以降は…」という話で、それだと出せ ないのと同じなので、この際きっちり安心してできるようにしてほしい。 方針自体にも明記していただければありがたい。最後に、相手先である 南河原小学校について、地区を含めてどうやって進めていくのか。</p>
吉田部長	<p>バスについては、現状では本日のお話以上のお答えはできない。北河 原のバスは1台で計画してきたので、1台を基本として、先ほど話にあ つた星宮のバスや循環バスが活用できるか検討している。ここは現時点 でお答えできる状態ではない。受け入れ地区については、既に学校長、 学校運営協議会とPTA会長には話してある。今後、地域全体に対して、 しっかりと説明会を開催していく。通学班や育成会など、北河原小と南 河原小ですり合わせなければならないこともある。そういったことも教 育委員会が調整役になって進めていきたい。</p>
出席者	<p>失礼なことを言うかもしれない。今回の計画が二転三転し て、結果的には北河原小が廃校になるということだが、北河原の大方の 人は廃校を望んでいないと思う。そういうことは、教育委員会がボタ ンの掛け違いをしていると強く感じている。その結果どうなったかと言 うと、北河原の方々が教育委員会に対して信用しなくなってしまった。な</p>

<p>鈴木教育長</p>	<p>ので、大切なことは北河原の方々の不信感を払しょくしないと、何を言っても「教育委員会の言う事は…」となってしまう。時期が過ぎれば大丈夫というのではなく、長く北河原地区の教育について関心をもってもらって、教育委員会が良くやってくれていると感じられるようにやってほしい。4月から他の学校に行くが、子ども達がどういう風に生活をしているか、どういう状況で学校生活を送っているか、追跡調査などをきめ細やかにやってほしい。そうしなければ、失礼ながら、北河原の人々は教育委員会を信用しなくなってしまう。</p> <p>お話のとおりだと思う。私が教育長になって、北河原小と南河原小の統合問題が数年塩漬けになったままでいたので、子ども達のために前に進まなければならないと思い、再編成問題に取り組んできた。なぜ前回の話が駄目になったのか関係する方に聞き、その上に立って、小さい学校が大きい学校に飲み込まれてしまうことや学校がなくなる喪失感をいかにして払拭できるような作業計画を市全体として立てたいと思い、現在修正しようとしている所もあるが、市全体の将来像を計画して、承認してもらい、進めてきた。その中で義務教育学校は、北部に学校を残し、新たな学校を作って皆さんと共に子ども達を育てていく方向で、みんなで一緒に作っていく学校として進めてきたのだが、先ほどの話であった経緯の中で、断念せざるを得なかった。こちらの地域へ説明に伺った時にも申し訳なく、北河原の皆さんの前でお話するのは本当に忍びなかった。義務教育学校がなくなってしまったことで、北河原の児童や地域や保護者の皆様が思いを遂げられるような計画を作っていきたいという風にシフトを変えていった。その中で、北河原小と荒木小と須加小であれば、新校として皆が同じスタートで一緒に作っていけるということで統合と提案し、話し合いを進めてきた。ただ、今の保護者が一番不安だし、子どもの事を一番真剣に考えているので、ここで保護者の意見を尊重したいと考えた。新校で新しい学校でという案と、それ以外に保護者の皆様が考える学校があれば、編入として話し合いを進めてきた。委員会としては決して単に数とかで決めたのではなく、北河原の地域の皆様の長年にわたる思いを含みながら配慮してきたところではあるが、最終的に保護者の皆様は南河原小、数人の方が忍小という選択をされ、それを今後円滑に子ども達が安心して通えるような環境づくりを全力で支えていきたいと思っている。廃校になる地域の皆さんは同じ思いだと思う。須加小の地域も荒木小の地域も同じ思いを持っている。150年近い学校が廃校になることがどういうことなのかは重く受け止めている。この後、学校が新しくなったとしても、地域の皆様には子ども達がどんな活動をしているかといった状況は、良い所も課題とかもつ</p>
--------------	---

	<p>ぶさにお知らせしたいと考えている。全国的に地域と共に作る学校というのが求められている。是非、北河原の皆様も南河原の方と共に子どもを支える立場で関わっていただきたい。学校運営協議会とか育成会とか色々な所で関わりながら、この先地域を支えていく子ども達が育っていくのを保護者や先生と共に見守ってほしいし、支えていってほしい。それは委員会の大きな仕事だと思っている。その辺の覚悟も含めて皆さんにはご理解をしていただきたい。先ほどバスの件についてあったが、できることはないか、本当に検討しているところとなっている。ただ、決まらない限りは、次の一步に進めないこともある。1つ1つの段階を決めていっていただいた上で、次の段階でどうするかと進めていっているところはある。議会を通さなければいけないこともあって、全てが完璧に揃って始めることは、なかなか行政では難しい。教育委員会が信用できないというのはつぶさに感じている。色々な思いがあると思うが、この方向で子ども達のためにやっていきたいことは確かなので、見守りつつ関わっていただいて、見届けてほしい。</p>
出席者	<p>300戸くらいしかない小さな地域だが、子ども達がバラバラになるのは個人的には反対である。中学校や高校であれば、やむを得ないと思うが、小学生は地域のまとまりのためにも一校に行くのが一番良いと思う。だから、4校統合による義務教育学校は賛成していた。地域に学校がなくなると、活力がなくなる。どうやって地区をまとめていくかが、私たちのこれからの課題だと思う。子ども達が小学校2～3校に分かれてしまうと、地域の人はどこに協力していいかわからない。小さい地域が見捨てられたと感じる。市長が指定学校でなくてもいいのではないかと聞いたという話を聞いた。それだったら、市長がここに来て、一度くらい地域の皆さんに説明すべきではないか。行田市のトップの人間として、そのくらいは当たり前だと思う。義務教育学校が駄目になった10月の会議の時に、解散ということではなくて、どういう方針でいったらいいかという風に継続してほしかった。そうすれば、その席上で3校の地域の皆さんで話をして、荒木小、須加小、北河原小の3校統合がいいという風に進めたかった。それが、いきなり解散だったので、残念だった。教育委員会が一生懸命やっているのはよくわかる。これは大変なことだと思うが、そういう細かいところまで気をつけてほしい。北河原の住民としては学校がなくなるのは非常に寂しい。</p>
吉田部長	<p>地域でまとまってほしいことについては、教育委員会も同じ考えである。保護者との話し合いの中でも、話をさせてもらっている。資料にある数字については、確定した数字ではない。保護者も悩んでいるところ</p>

	<p>だと思ふ。保護者の皆様もできればまとまる方向で話し合ってもらえればありがたいと思ふ。</p>
出席者	<p>北河原から忍へバスは出すことは、全く考えていないか。</p>
吉田部長	<p>考えていない。というのは、学校の始業時間の関係で、忍小にあわせると南河原小に着く時間がすごく早くなってしまう。基本的にバス1台の運行を考えているので、2校に回すのは難しいと考えている。</p>
出席者	<p>この間の話し合いで、星宮との乗り合わせについて、令和4年に皆が乗れたとしても、星宮が増えれば北河原におりてもらうことになるという風な話があったと思ふが、そこに北河原では、自由選択だからというよそ者感が出てくる。星宮の方が増えたら自分で送ってくださいではなくて、バスを増やしたりして対応すると思ふ。でも、北河原は星宮が増えたらおりてください、自分で送ってくださいになってしまう。もしバスが出るのであれば、一度でも寄せたら卒業するまで面倒をみてほしい。</p>
長島課長	<p>基本的にバスは指定校へ出す。須加小の関係もあることは十分承知している。バス1台を予定している中で、星宮小のバスに乗ってもらうことができないか、探しているところ。先日保護者の説明会で話したのは、定員と人数の関係でいくと、令和4年度は乗ってもらえるが、令和5年度は限られてしまう状況にある。星宮小の増便という話については、今の所の人数で考えると、星宮小も令和5年度は多いが、その後はまた少なくなる状況にある。その辺を見て、バスの計画を考えている。何が出来るかというのは、バス会社に話を聞いたり、色々としているが、原則は、指定校にはバスを出す、学校の選択をした方については、保護者の責任でお願いしたい。</p>
出席者	<p>須加小は出る。</p>
長島課長	<p>バスの運行のやり方となる。始業時間と就業時間の関係で、できる可能性があるか探しているところなので、申し訳ないが、今は確定的なことは言えない。</p>
出席者	<p>1台の定員は。</p>
吉田部長	<p>北河原小は1台のマイクロバスで全員が乗り切るので、それで考えて</p>

	<p>いる。須加小は2台のマイクロバスで乗り切る。須加小のバスもそもそもは北河原と同じ考えでいて、指定校以外は保護者の責任で行ってもらおう。ただ、意向調査の結果が17対17と2つに分かれてしまい、総合教育会議の中で市長が「保護者の意見が分かれているのであれば両方を尊重していいのでは」という考えを示したので検討することになった。バスを増やすということではなく、荒木小を経由して桜ヶ丘小に回すイメージとなる。荒木小と桜ヶ丘小であれば、荒木を経由したとしても荒木がそんなに早い時間にはならない。ただ、南河原小から忍小に行くとなると南河原小に通う方が相当早くなってしまう。</p>
出席者	<p>合併しなければいけないことが決まっていることに対して、父兄の負担がかからないにはどうしたらよいか。負担を軽減したい。</p>
吉田部長	<p>星宮に乗ることとか、色々考えているが、申し訳ないが、現時点では、はっきりとしたことが言えない状態にある。</p>
出席者	<p>なぜそうなったのかというのが理解されていない。複式学級解消のために北河原小を廃校する、南河原小に行く、それを希望しない人は自由選択となる。安心・安全と言っている割に、自由選択で登下校の責任については中身がない。こうしますと言わない限り安心できない。父兄は毎日のことになるが、教育委員会としてどう考えているか。</p>
吉田部長	<p>自由選択というより、指定校変更という形になる。今も指定校変更を行っているが、指定校変更の場合は基本的に保護者の責任で通学してもらっている。ただ、学校が廃校になることで、保護者の心配がある中で、何か少しでも負担軽減できることはないか検討している。</p>
出席者	<p>指定校変更でどこの学校に行こうがいい。だけど、そうなった結果はここから来ている。だったら、バスにお金がかかろうが登下校させるのが責任ではないのか。自由選択をしたから勝手に行ってもらおうというのはおかしいと思う。</p>
吉田部長	<p>保護者の皆様と話し合いをする中で、指定校以外を希望する場合は保護者の協力をお願いするということで話をしている。</p>
出席者	<p>安心・安全がどこにいったのか。</p>
出席者	<p>反対をしているわけではない。時の流れで合併は仕方がない。だけど、</p>

<p>吉田部長</p>	<p>子ども達が家を出て、帰ってくるまで保証してもらえなければ何の意味もない。それを先に決めて説明しないと、親だって心配だと思う。</p> <p>安全な通学というのは大切だと思う。そういったことから、教育委員会としては、できれば指定校にまとまって行ってほしい。そうすれば、指定校なのでバスが出る。</p>
<p>出席者</p>	<p>他の地区でバスを2台出して安心・安全、北河原には出さないというのが問題であると思う。やはり、子どもは行田市の宝なので、お金を使ってもらいたい。須加だって将来的には人数がどうなるかわからない。半々だったらバスは1台ずつでいいわけだけど、毎年児童数は変わる。北河原だって行きたい人が増えるかもしれない。これからの他の合併を考えた時に、将来的な学校編成に響くと思う。6月議会に案件が出る予定。それで決まる。意向を反映していないうちに議案が出る。今日の説明会をやったとしても、6月議会には出る。出たとして、○か×か考えた場合、複式学級解消のためにやるということなので、否決になるような案件ではない。私は説明会に出ているからわかるが、他の議員は内容がわからない。市長が言っているように意向を反映しているとは思わないと思う。義務教育学校の時だって北河原は賛成している。これからのことは議決がないと決まらないというが、逆にバスがどうなるのか決まらなると決められないのではないか。そういう中で説明が足りないと思う。</p>
<p>司会</p>	<p>5 閉会</p> <p>(閉会后、バスや保護者の不安解消などに対して詳細な説明を求める意見があった。)</p>